

# 会報

2012 ▶ 2013  
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて  
**平和を**

田中作次

2012-13年度  
国際ロータリー会長

留萌  
ロータリークラブ  
会長目標

ロータリーを楽しく・  
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

## プログラム

- 本日  
年次総会（移動例会）  
会員誕生日  
11月29日 石川 健二  
12月3日 対馬 健一  
特別慶祝（米寿）  
11月29日 石川 健二
- 次週予定  
会員卓話  
「今冬の電力需給について」  
原谷会員  
配偶者誕生日  
12月1日 山本由紀子

No. 2537

第21回 11月28日

出席報告

前例会

会員総数……………43名  
出免会員……………10名  
出免出席……………6名  
基準会員出席……………19名  
出席率……………62.23%

前々会

第18回 11月7日

欠席会員……………9名  
内メイクアップ……………4名  
修正出席率……………81.08%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



## 会長報告……………

1. 本日清水ガバナー補佐と森ガバナー補佐室長は、今年度上半期最後のクラブ訪問のため例会を欠席しております。クラブ訪問日程は、11月20日(火)が深川RC、11月21日(水)が妹背牛RC、11月22日(木)が羽幌RCの訪問となっております。



## 幹事報告……………

- ・赤平RCより12月例会案内を受領しました。
- ・妹背牛RCより12月例会案内と会報を受領しました。
- ・ロータリー米山記念奨学会より「ハイライトよねやま152」がメールにて配信されてきましたので回覧いたします。

ゲスト

留萌市教育委員会 寺本教育部長



## 委員会報告……………

親睦活動委員会

行徳委員長

12月12日の例会は、恒例の「ロータリー年忘れ家族会」です。今年の会場はオーベルジュ増毛にて開催いたします。料理は三国シェフ監修ですので、皆さん楽しみにしてください。当日は17時30分に産業会館よりバスが出発いたします。

出欠の確認をしておりますので、是非多くの会員、ご家族の参加を期待します。



### 3分間情報……………

会員研修委員会

高田副委員長

「国際協議会」(ロータリー用語便覧より)

国際協議会の目的は、ガバナー・エレクトにロータリー教育を行い、運営上の任務を指導し、鼓舞激励し、さらにエレクトや他の出席者に次年度のロータリープログラムや活動の実施方法を討議・計画する機会を与えることである。

(国際ロータリーニュース2012年1月16日より)

16日に行なわれた2012年国際協議会の本会議で、田中作次R I会長エレクトが次年度のR Iテーマを発表し、「奉仕を通じて平和を」築いていくよう、ロータリーの次期地区ガバナーに呼びかけました。(2012年国際協議会講演集より)

「奉仕を通じて平和を」 田中作次R I会長  
皆様、おはようございます。

このたび、2012~2013年度ガバナーとなられる皆様にお話させていただきますことを、誠に光栄に感じております。長年ロータリーは、私にとって人生の中心となつてまいりましたが、1975年にロータリーに入会した当初、それから私の人生がまったく違った方向に向かっていくとは思いませんでした。ロータリーに入るまで、私の人生観はとても狭いものでした。貧しい家の8人兄弟の4番目として生まれた私を取り巻く人達も、ほとんどが貧しい境遇にいました。週に一度、母と私は市場まで20キロの道を、歩いて野菜を売りに行ったものです。日本人以外の方々とは、一度もお会いしたことがなく、あの村が私の全世界でした。

ですから、私はいつも旅することを夢に見ておりました。遠くの町や国を見ながら、どんな所なんだろうと想像したものです。それ以来、幸いにも頻りに旅をする機会があり、自分で思いもよらないほど、世界のあちこちを見ることができました。しかし、ロータリーでの経験ほど私の視野を広げてくれたものではありません。ロータリアンになるまで私の目に入っていたものと言えば、仕事、家族、顧客、競争相手など、

身近なものばかりでした。旅に出ても、お決まりのものしか見えていませんでした。その背景にあるあるもの、自分と関わりがないと思うものには、気にも留めていませんでした。

しかし、私はある日、推薦を受けて八潮ロータリークラブに入会しました。それから2年後、ある方が例会に来て、職業奉仕についてお話をしてくださったのです。私はその日から少しずつ変わっていきました。収入や、売り上げを増やすことや、自分の会社をほかの会社よりも良くすることだけでなく、人として、職業人として、もっと良い、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったのです。そしてその為に、他の人たちの役に立つことが、私にとって人生で最も大切だと思うようになりました。

さらに私は、どんな些細なことでも人を助けることが、いずれは平和につながることに気づきました。「平和」という言葉はよく耳にする言葉です。ニュースでも、日常会話でもよく聞きますし、ロータリーでも頻りに口にする言葉ですが、私たちは、「平和」とは何なのか、どういうことなのかを、あまり考える事はありません。一番簡単なのが、「平和」でない状態がどの様なものなのかを語ることでしょう。つまり、戦争や暴力や恐れることのない状態の事です。飢餓や弾圧、貧困を恐れる事のない状態です。

また逆に、「平和」を、それが何であるか、どういう可能性を秘めているのかで定義する事も出来ます。そういう意味では「平和」は、発言と選択の自由であり、自己決定の権利であると定義できます。安全で安心できる未来を意味し、安定した社会での人生と家庭を意味するとも言えます。

そしてもっと抽象的に言うと、「平和」とは幸福感や心の平穩、静けさであるとも言えます。ですから、「平和」が何を意味しているかは、人によって違うのです。どの定義が正しいとか、間違っているということではなく、自分にとって「平和」が意味すること、それがまさに平和なのです。

## 【三二情報】

アドリア海に面した潟に浮ぶイタリア北部のベネチアで、11月11日悪天候のため、本島周辺の水位が通常より149センチ上昇、市内約7割が浸水した。観測記録が残っている1872年以降、6番目の高水位という。

観光名所のサンマルコ広場では、水着姿で泳ぐ人の姿も見られた。ベネチアは今月1日にも140センチ水位が上昇し、約58%が浸水したばかり。地盤沈下が進むベネチアでは、秋冬に季節風と雨の影響で高潮が続く、市内がしばしば浸水する。イタリア北部ではここ数日の激しい雨により、各地で浸水の被害が起きた。



## ニコニコBOX……………

・良い事がありますように 山本会長

前 回	334,000円
今 回	3,000円
累 計	337,000円



## プログラム……………

「留萌市立小中学校適正配置計画について」

留萌市教育委員会 寺本 教育部長

本日は、留萌ロータリークラブの例会にお招きいただきありがとうございます。今日は、留萌市の小中学校適正配置計画についてお話させていただきます。お手元の資料を見ながら聞いてください。

近年、少子化の進行に伴い児童生徒数が減少し、留萌市内でも多くの小中学校が小規模校化しています。こうした中、教育委員会では次代を担う子供たちの望ましい教育環境の整備と教育の質の充実を目指し、新たな「留萌市立小中学校適正配置計画」を策定しました。

本計画の策定にあたっては、保護者や地域の皆様を対象とした説明会の開催に合わせ、小中学校PTA連合会、幼稚園・保育園PTA、各地区コミセン運営協議会、商工会議所、教育関係機関、それぞれの代表による「留萌市立小中



学校適正配置検討委員会」を設置し、さまざまなご意見をいただきながら、子供たちの教育環境を最優先に考えた計画の策定を進めてまいりました。

「留萌市立小中学校適正配置計画」では、平成29年度までに望ましい学校規模として、現在の7つの小学校を将来的には3校に統合し、中学校は3校を2校に統合することを計画しております。また計画期間内でも、児童生徒数の推移や校舎の老朽化等の理由により計画の見直しが必要とされる場合は、すみやかに計画内容を変更します。

留萌市の実情に即した適正規模の基準は、小学校では子供たちがそれぞれに個性を大切にしながら、多様な人間関係を出来るだけ多く経験できるよう、クラス替えができる各学年複数学級が確保されることと同一学年において、複数の学級で学級経営や教科指導等を行う事ができること。多様な学級形態や特別活動などの選択が可能になること。特別教室や体育館などの施設が、ある程度余裕を持って使用できること。児童一人ひとりの実態を把握し、適切に指導できる範囲であること。などから、学年2～3学級、学校全体で12～18学級を適正規模とするように決めました。

中学校の適正規模は生徒の人格形成の点からも、多様な人間関係を出来るだけ多く経験できるよう、クラス替えができる各学年複数学級が確保されること。各教科に専門の担当教員の配置が可能となること。さらに、授業時数の多い5教科に複数の教員が配置できること。多様な学習形態や部活動の選択が可能となること。特別教室や体育館などの施設が、ある程度余裕を

## 第20回 11月21日(水) 天候/曇

持って使用できること。生徒一人ひとりの実態を把握し、適切に指導できる範囲であること。などから学年3～6学級、学校全体で9～18学級を適正規模とするように決めました。

また適正配置に向けた取組として

### ① 複式学級の解消

適正規模に満たない小規模校のうち、特に複式学級を含む学校については、早期に適正規模化を測ることとします。

### ② 小規模校の適正規模化

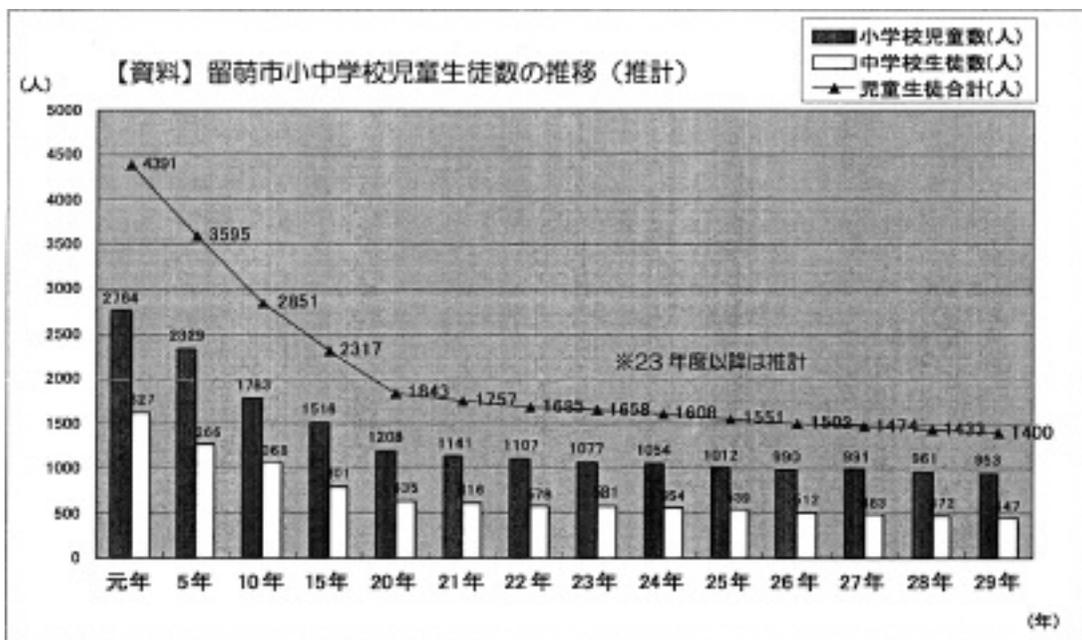
適正規模校との統合、小規模校同士の統合により、適正規模化を図ることとします。

### ③ 適正規模校の維持

望ましい学校規模が確保されるよう、計画的に、適正規模の維持に向けた取組を図ります。

今後、本計画に基づく学校統合を進めるにあたっては、当該校の保護者や地域住民の代表などと十分協議を行うこととし、協議内容については、教育委員会のホームページなどにより広く市民へ情報提供を行うこととします。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

本日はご静聴ありがとうございました。



※23年度以降は住民基本台帳による平成22年4月1日までに出生した0歳～5歳までの未就学児童数と、これまでの児童生徒数の推移を基に留萌市教育委員会で作成した推計

### 例会プログラム【12月】

12月5日(水)

会員卓話「今冬の電力需給について」 原谷会員

12月12日(水) 年忘れ家族会

12月19日(水) バツツ例会